



# あべきみこ活動 REPORT

あべきみこ事務所

〒131-0043  
墨田区立花4-1-8  
Tel.03-3610-0777  
★URL:<http://www.abekimi.info>  
★e-mail:[abekimi@abekimi.info](mailto:abekimi@abekimi.info)



《 2011年7月 活動報告 》

墨田区議会議員あべきみこ  
民主クラブ 広報・宣伝紙  
東京都墨田区吾妻橋1-23-20  
電話 03-5608-6197 (直通)

6月14日から7月6日まで平成23年度第2回定例会が開催されました。7月23日には一般質問を行わせていただきました。東日本大震災を教訓に改めて墨田区の防災対策の強化に取り組むよう、災害弱者や帰宅困難者対策を中心に質問いたしました。続いて、東京電力の福島原子力発電所の放射能汚染で、放射能の測定を早急に行うよう、また学校プールの水の放射線測定について山崎区長に質問いたしました。今回は本会議で行った災害対策に関する質問の一部をご報告させていただきます。(次号は放射線測定に関する質問を掲載する予定です)

これからも墨田区に住む人、働く人のために生活者の目線でわかりやすく、信頼される区政の実現を目指して参ります、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

## Action.1 本会議質問

### 《あべきみこ 質問》

民主クラブのあべきみこです。先に通告しました項目について質問いたします。今回の震災は大きな教訓と、今後の災害対策のあり方について問題提起してくれたものだと思います。

これまでも墨田区では「燃えない、壊れない街づくり」を推進してきましたが、東京でこのような大災害が起こった時に、被害を最小限に抑えられるよう、今回の東日本大震災を教訓に墨田区の災害対策について、もう一度見直すべきと考えます。

今回の震災で大量の帰宅困難者が発生しました。帰宅困難者に対する情報の提供、保護支援、交通手段の確保の対策を実施する必要があると考えます。

これまで墨田区では各種民間団体等とは、災害時協力協定を締結していると伺いました。

しかし震災当日、東武ホテルなどはフロアの開放でしたが、JRの錦糸町駅ではシャッターを閉めてしまい、大規模小売店のオリナスは5時前には閉店してしまい、多くの帰宅困難者が街にあふれました。

駅、ホテル、大規模な店舗等は災害時、帰宅困難者の滞留場所として、フロアやトイレの解放などの設置を検討するよう働きかけをお願いします。ターミナル駅の通路や広場の活用方法については災害時協力協定の中に取り入れていただきたい。

タワー開業も控えています。タワー開業後は多くの観光客が墨田区にみえます。しっかりとした対策が必要ではないか。

### 《山崎区長 答弁》

帰宅困難者対策は、広域的な対応が求められることから、都が都立学校等を一時収容施設として確保するとともに、帰宅支援道路沿いのガソリンスタンドやコンビニエンスストアとの協定の下で、トイレ・飲料水・休憩場所の提供に努めること、さらに鉄道事業者からの情報収集、都民への情報提供、バスなどによる代替移送手段の確保などの役割も担うこととなっている。しかし、今回のように大勢の帰宅困難者が発生した状況を考えると、本区においても都の施策を補完する手立てを講じておく必要があることから、駅前の大規模集客施設等の支援・協力を前提とした防災協定の締結等について、早急に取り組んでいきたい。

併せてご質問のあった東京スカイツリー見物客の対応についても、当然のこととして考えておく必要があるので、事業者と事前に十分に調整したい。



## Action2 本会議質問

### 《あべきみこ 質問》

特に高齢化が急速に進む現在は、核家族化の影響などとあいまって、高齢者世帯が急増しています。特に昼間の時間帯には、女性の社会進出などにより高齢者だけになる傾向も強く、災害弱者対策という観点から防災を見直すことがとくに重要になってきています。

地域での災害弱者の実態把握や災害時の不安等について「ふれあい訪問」や「見守り」等の活動から日常時において、日頃から「声をかけあうこと」が大切です。

このような機会を通して、今後、要援護者のいる家庭の防災点検を定期的に行う活動や防災環境の改善の相談事業などをすすめ、他の活動と有機的に組み合わせることが必要ではないでしょうか。

サポート体制については、あらかじめ避難所の運営体制を確立しておくことによって、適切な運営が図られると思います。そのためには避難所での役割分担や責任の明確化が必要になります。

次に、身体介護など十分なケア体制の確立について伺います。介護技術を備えたホームヘルパー等を避難所へ派遣し専門知識や技術を身につけたものによる支援が必要になります。また福祉避難所などの開設や、自主防災組織等によるバックアップ体制と緊密な連携をとることが必要ではないでしょうか。

災害弱者への対策をすすめるためにも、きめ細かな広報と地域住民の意識啓発を十分に図り、また意識啓発だけでなく、実際に定期的な訓練を実施するなどして、実践的な体制づくりをすすめる必要があるのではないのでしょうか。区長のご所見を伺います。

### 《山崎区長 答弁》

災害時要援護者対策を進めるに当たっては、地域で支える体制を整えることが必要であり、孤立している高齢者等の存在に気づき、その特性を認識し、災害発生時における効果的な対応策を事前に講じておくことが重要。

今年度は、これまで2箇所であった高齢者みまもり相談室を8箇所に増設し、地域の方々と協力して、みまもりが必要な方等の発見と支援に力を入れていく。この活動の中で、他の機関と連携し、家屋の防災点検、災害時の支援のあり方等を個別に検討していきたい。

避難所におけるサポート体制について、避難所の運営を適切に行うには役割分担等を明確にしておく必要があるため、日頃から防災拠点会議等を通じて関係者間の認識の共有化を図っているところである。また、避難所における的確な情報提供については、今回の震災で得た様々な事象を教訓に、聴力障害のある方など、情報が得づらい方に配慮したきめ細やかな対応策を構築していきたい。

避難所でのケア体制の確立については、長期化する避難所生活において、身体介護などのケア体制を確立することは極めて重要なことであると認識している。そこで、ホームヘルパーの避難所への配置など、支援が必要な方のケア体制の整備に向けて、介護サービス事業者等との連携を図っていきたい。また、福祉避難所の開設についても、避難所全体の設置構想の中で検討させていただきたい。

この度の大震災から得た教訓をもとに、避難所運営などさまざまな事象に対して適切な対応ができるよう実践的な訓練を行っていきたい。

## 私たち後援会は「あべきみこ」の目指す『すみだ』を共につくって参ります

### あべきみこの公約

#### 1 子育てする人にやさしい街、墨田へ！

安心して子どもを生き育てられるよう、子育て支援策を充実させます。

#### 2 高齢者福祉充実の街、墨田へ！

高齢者の皆様が住みなれた街でいきいきと暮らせるよう、福祉支援策を充実させます。

#### 3 安心して暮らせる街、墨田へ！

墨田区に住む人・働く人誰もが安心してうるおいのある生活が送れるようにします。

あべきみこ後援会  
「墨田げんき応援団」

参加  
大募集



あべきみこは墨田区をさらに元気なまちにしたいと区民の皆様からご支持を頂き区議会議員として2期勤めて参りました。

『墨田区生まれ 墨田区育ち、現在も一人娘を育てながら働く女性としての経験』を活かし、墨田区で働く人・暮らす人が住みなれた地域で安心して豊かな暮らしができるよう努めています。

皆様もあべきみこと一緒にげんきな墨田をつくりませんか？